

と流通体制の整備をはかる。

### 開発地域

▲阿蘇地域▼  
白川、杖立川、緑川の上流には、魚族の放流を行ない、溜池などには積極的繁殖法を導入し特に適地には冷水性魚族の繁殖を促進する。

### ▲球磨地域▼

球磨川には、溯河性魚族の積極的放流を行ない、ダム建設によって生じた人工湖には、その水質に適した各種魚族の放流を行ない、溜池などの魚類繁殖については、積極的繁殖法を導入指導する。また適地には、冷水性魚族の繁殖を促進する。

### ▲天草地域▼

有明海、不知火海、東支那海に囲まれた離島であるこの地域は、本県漁船漁業の中心地帯である。

振興方向としては①沿岸適地に魚礁および築磯などの設置による漁場の改良造成、また天草西海域漁場には、同漁場開発の足がかりとするための大型魚礁の設

## 生産基盤

### 漁船漁業の漁場造成……

沿岸、沖合における釣、延縄漁業の漁場を造成するため、三トン未満の釣、延縄漁業階層を主対象として、それぞれの地域漁場の特性に応じて漁場改良造成事業を実施する。このため、集中的である

置③生産性の高い漁業への転換を促進およびこれを主業として周年操業が可能な

漁業の多角化、協業化の促進④漁業設備の近代化、省力機械の導入などによる経営合理化の促進および操業区域の拡張⑤経営の安定化をはかるため、はまち、ぶぐ、たこ、くるまえばなどを目的とするかん水蓄養殖業を導入し、協業組織などによる合理的経営方式の確立⑥天草西海域の底棲魚族資源の活用をはかるため、能率的な漁具漁法の導入、集団操業方式による対馬のいか釣および五島、薩南海域への出漁を促進、沖合外海への進出⑦天草架橋の完成により、島内外の交通は飛躍的に好転するので、漁獲物の商品価値を高めるため流通改善諸施設の設置、系統集出荷体制の確立⑧漁協合併を強力に推進、漁協の整備強化⑨漁村経済圏の中心的位置にある中核的漁港の整備⑩天草の特性を生かした観光事業の発展をはかるため観光漁業センターなどを設置するなど零細規模経営からの脱脚を促進する。

## の整備

は継続的に、沖合には大型魚礁を、沿岸には並型魚礁を設置して、安定した漁業の生産の場をつくる。

### 浅海養殖業の開発……

のり養殖漁場については、既存漁場の改良造成を行なうとともに適地漁場の開

### 現地ルポ

六月一日、待望の県水産試験場大矢野分場（水産種苗センター）が、事業を開始した。名のとおり、つくる漁業のかなめとして、沿岸漁業の構造改善に、漁業経営の安定と所得の増大に大きな役割を果たすことになるだろう。

さて、その種苗センターで、車えび稚魚が、見事に孵化した。熊本県の養殖車えび、第一号となるわけである。昭和二十九年に、

### 水産種苗センター

車えびの飼料となる植物性プランクトン（スケレトネ

マ）の培養を、苦心の未成功させて、実用化へ大きく踏み出してから一年、熊本県の手えび養殖の歴史が始まるうとしていのである。本年度は、まず五万尾の稚えびがつくられる予定で、最終生産目標は百万尾。

全国でただ二ヶ所、むろん九州で唯一のセンターは、自慢の施設をいくつか備えている。

発を積極的に推進する。一部の地区では

沖合養殖保全施設を設置して、干潮時水深三〜五メートルの沖合漁場を開発する。

かん水蓄養殖業については、鳥影、入江などの自然条件を利用して、これに適當な施設を設置して魚類、そうらの養殖場を整備するとともに県営の水産種苗センターを拠点として、養殖種苗の生産、配布を行ない、かん水蓄養殖業振興の基盤とする。

### 漁港の整備……

漁船整備の近代化、操業範囲の拡大、かん水蓄養殖業の導入などにもない漁場行使面で紛争が生じないよう漁業免許許可、海区漁業調整委員会の指導など漁業調整につとめ漁場行使の適正化と漁場の効率的な利用を促進する。

### 漁場行使の適正化……

どの機能施設の整備をはかる。

## 経営構造の改善

### 漁船漁業の改善……

沿岸においては、漁場条件に適した三トンの動力漁船による比較的生産性の高い漁業を主業とする経営体の創出を基本としながら一部については、かん水蓄養殖業への移行、上位階層への移行を促進する。小型まき網漁業、船ひび網漁業などの網漁業については、就業者の確保および経営の合理化、近代化の面から漁船漁具の改良、規模能力の拡大をはかる。その他の網漁業、釣、延縄漁業などについては、他種漁業との合理的な組合わせあるいは養殖業との兼業などによる多角化および協業化を促進する。これらを実現するため、漁船機関のディーゼル化高馬力化をすすめ魚群探知機、超短波無線機、省力機械などの近代設備および船内鮮度保持施設などの設備を整備し、かつ制度資金の積極的な活用をはかる。

なお、金融ベースに乗りにくい零細漁家に対する対策としては、無動力船の動力化に際し、市町村および県の保証による融資をあっせんし、漁船の近代化をすすめる。釣延縄などの近海への出漁又は冬期漁閑期における対馬のいか釣など外海への出漁を促進するため、漁船を大型化し整備の近代化をはかるとともに、沖積

運搬船を母船とする集団操業方式による効果的な操業を行なって生産の増大および流通の改善をはかり企業の経営体の育成を促進する。まき網漁業など網漁業については、労働力の減少をカバーするため協業化を促進する一方、省力機械を中心とする装備の近代化を促進し、経営の合理化をはかる。

### 浅海養殖業の改善……

#### のり養殖業

現在一経営体当りの生産数量は、約三万五千枚であるが将来適正経営規模（約一〇万枚）の主業漁家を育成するため沖出しおよび沖合養殖漁場を積極的に開発し、この開発された漁場と既存漁場とを有機的に使用させるとともに既存漁場の改良を行ない、かつ一斉施肥防除などをを行なって生産の向上をはかる。また経営合理化のため、のり処理過程の共同化省力化をはかり、かつ生産性の高い養殖方法への転換および養殖技術の向上を促進する。これらを実現するため沖合養殖保全施設、施肥防除施設、処理施設などの設置および省力機械の導入をはかるとともに、沖合養殖に備えて漁船を整備する。

#### かん水蓄養殖業

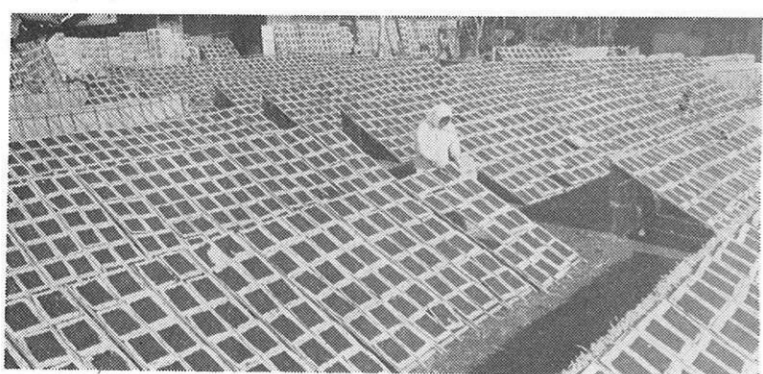
現在くるまえばの蓄養殖と真珠養殖業以外のかん水蓄養殖業はほとんど行われていない。くるまえばの蓄養殖については既存業者の経営近代化を促進するのに必要な施策を講ずるとともにさらに集約的養殖経営体の創出を促進する。魚類など（はまち、ぶぐ、たい、たこその他）の養殖については適地にこれを導入し、当初は生産組合などによって運営管理させ、将来は漁民の協業体による経営の方向に推進し、次第に専業化をはかる。このため種苗については県営の水産種苗センターを設置し種苗の生産、配布を行なう。飼料については、その供給地および需要地に飼料保管用冷蔵庫を設置する。また適地に養殖施設、養殖用保管作業施設などを設置する。

### 中堅的漁業者の育成……

沿岸漁業の構造改善を推進し、企業の経営体を育成するため漁民研修施設（水産に関する技術指導）を設置して、若年労働者の確保および中堅的漁業者の養成を行なう。また、漁村の青壮年婦人部の結成および指導を強力に行なって、これらを中心とした技術改良研究を促進するなど漁村における人づくりを積極的に推進する。

### 試験研究機関の整備……

沿岸漁業の多角化、沖合漁業への進出、かん水蓄養殖業の導入など今後の漁



生産性の高いのり養殖へ……